

<令和3年新規認定者の紹介>

指導農業士



左から城下 浩一氏 (錦江町・茶), 安水 純一氏 (錦江町・露地野菜), 有馬 研一氏 (輝北町・生産牛)

指導農業士は、優れた農業経営を実践し、青年農業者の育成に対する熱意と指導力のある農業者を知事が認定するものです。

青年農業士



左から永山裕太氏 (鹿屋市・ピーマン), 木佐貴貴睦氏 (鹿屋市・ピーマン), 宅万知寿氏 (肝付町・きんかん)

青年農業士は、農業技術・経営に関する一定の研修を終了し、プロジェクト活動に取り組み、その成果を上げた地域農業振興のリーダーと成り得る農業青年を知事が認定するものです。

<農政普及課の転出者&転入者の紹介>

4月の人事異動による大隅地域振興局農政普及課の転出者及び転入者は、以下のとおりです。

係名	職名	【転入者】(後任, 課内異動)		【転出者】(前任, 課内異動)		
		氏名	旧所属	職名	氏名	新所属
	課長	中園 千尋	鹿児島地域振興局農政普及課	課長	玉利 信人	(再任用)北薩地域振興局農政普及課
	技術補佐	谷山 浩久	農政普及課	技術補佐	高橋 正樹	鹿児島中央家畜保健衛生所
	技術補佐兼係長	松本 徹	農業振興総合センター普及啓発課	技術補佐兼係長	中村 一英	曾於岫かかんがい農業推進センター
農業振興第一・二係	技術専門員	諏訪 康子	農業振興総合センター花き研究室	技術主査	幸福 和彦	経営普及係
	主事	大宮司由美子	新規(臨時)職員	農業技術師	山口 幸彦	退職
	専門員	田島 満	大隅地域振興局畜産課	主査	山下 剛史	県民健康プラザ鹿屋医療センター
畜産振興係	技術主幹兼係長	濱田 幸一郎	北薩地域振興局農政普及課	技術主幹兼係長	清野 滋美	農政普及課
	畜産技術師	末永 はるか	曾於岫かかんがい農業推進センター	技術専門員	生駒 エリナ	曾於岫かかんがい農業推進センター
経営普及係	係長	木村 浩司	技術専門員	技術主幹兼係長	上赤 笑子	南薩地域振興局農政普及課(指宿市十二町駐在)
	技術専門員	吉田 英康	大島支庁農政普及課	技術専門員	有村 百合子	大隅加工技術研究センター
	技術専門員	幸福 和彦	農業振興第一係	技術専門員	若志 信博	徳之島事務所農業普及課
				主事	内村 恵真	退職
	技術主査	上村 信台	畜産普及係	技術専門員	立和田 俊明	農政普及技術課
	技術主査	武 貴子	農政普及課	技術主幹兼係長	上赤 笑子	南薩地域振興局農政普及課(指宿市十二町駐在)
	農業技術師	別府 拓郎	新規採用	技術専門員	木村 浩司	
畜産普及係	技術専門員	高木 良弘	始良・伊佐地域振興局農政普及課	技術主査	上村 信台	経営普及係
	農業技術師	谷口 兼士郎	農政普及技術課	技術主査	西山 和博	曾於岫かかんがい農業推進センター
	農業技術師	生田 美碧	新規採用	農業技術師	濱田 愛	熊毛支庁農政普及課
	農業技術師	西川 光博	臨時職員	技術主査	吉永 健一郎	退職
野菜普及係	技術補佐兼係長	松本 徹(再帰)	農業振興総合センター普及啓発課	係長	小山田 耕作	農業振興総合センター普及啓発課
	技術主査	小濱 美弘	再任用	技術専門員	末川 久	北薩地域振興局(さつま町駐在)
	農業技術師	中村 太郎	農政普及課			
果樹花き普及係	技術主幹兼係長	内野 浩二	農業振興総合センター特産果樹研究室	技術補佐兼係長	中村 一英(再帰)	曾於岫かかんがい農業推進センター
茶普及係	係長	上園 浩	南薩地域振興局農政普及課	技術主幹兼係長	吉田 真一	屋久島事務所農林普及課

普及だより



●編集発行
大隅地域振興局農林水産部農政普及課
肝属地域農業改良普及事業協議会
ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao01/chiiki/osumi/index.html>

鹿屋市打馬2丁目16-6
TEL: 0994-52-2146
FAX: 0994-52-2147

<令和4年度普及指導活動の方針について>

◎大隅地域振興局 農林水産部 農政普及課長 中園 千尋



肝属地域の農業振興上の課題や国・県の施策等を踏まえ、農業者や関係機関・団体との密接な連携を図り、以下のような普及指導活動を展開します。

- 肝属農業を支える意欲ある経営体の育成**
農業を担う新規就農者、青年農業者や若手女性農業者等が抱える技術・経営課題の解決を進めながら、認定農業者等の確保・育成を図ります(写真1)。
- 畑かん利用による高収益な畑作営農の推進**
畑かん営農への理解促進のため話し合い活動や水利用実証、散水器具実演会などを実施し、畑かん水の効果的な利用技術を推進することで、畑かん営農による高収益な経営の発展が図られるように支援します(写真2)。
- サツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定**
サツマイモ基腐病対策の基本である、ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」対策を総合的に進め、特に、健全な苗を確保し、健全なほ場への作付けを推進することで、さつまいもの生産安定を図ります(写真3)。
- 地域の特色を生かした農産物の産地育成**
地域農業の持続的発展のために、野菜、果樹、花き、茶、畜産、水稻等の各部門で開発されたスマート農業等の新しい技術にチャレンジしながら、技術・販売等産地課題の解決に取り組みます。また、GAPやIPM等の安心・安全な農産物の生産に取り組む農業者を支援します。



写真1 消費税に係るインボイス制度の研修会



写真2 散水器具の実演会



写真3 さつまいも育苗巡回指導

知って得する!経営情報!!

新たに農業を始めた方へ! 農業基礎講座を開催します!

農政普及課では、毎年、**新規就農者等を対象とした講座**を開催しています。

講座には、農業の基礎技術等を学ぶ「**農業基礎講座**」と、パソコンを活用した複式簿記記帳について学ぶ「**農業簿記基礎講座**」の2コースがあります。

受講を希望される方は、経営普及係(TEL 0994-52-2142)までお問い合わせください。

令和4年度 農業基礎講座(予定)

回数	開催月	講座の内容
全4回	6月 ～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> 先輩農業者の講話 ・土づくり、肥料・施肥技術の基礎 病害虫防除、農薬取扱いの基礎(耕種部門) 牛の飼養管理、飼料栽培の基礎(畜産部門) 農業経営の基礎、制度資金活用の基礎、農作業事故防止 など

令和4年度 農業簿記基礎講座(予定)

回数	開催月	講座の内容
全2回	7月	複式簿記の基礎、パソコン簿記(研修用ソフト)入力演習

※1 会場は、大隅地域振興局別館2階大会議室、時間は午後1時30分から開催予定です。

※2 農業簿記基礎講座には、各自ノートパソコンを持参していただく必要があります。

※3 諸事情により変更もあります。

知って得する!技術情報!!

「サツマイモ基腐病」の防除対策

持ち込まない〔健全苗の確保〕, **増やさない**〔ほ場の排水・発生株の除去〕, **残さない**〔残さの分解促進〕を徹底しましょう。未発生ほ場では、基腐病に感染した苗を「持ち込まない」ことが最も重要な防除対策となります。

1 ほ場準備

基腐病は排水不良な場所(水がたまりやすい場所)で広がりやすいため、作付け前にほ場周辺に縁明きょや枕畝の途中を切るなど排水溝を設置し、ほ場外への排水を促します。

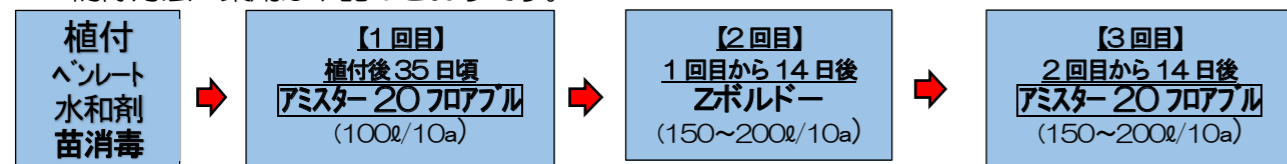
2 苗消毒

ベンレート水和剤による苗消毒は、初期の発病抑制効果が高いので、必ず行います。苗消毒は必ず採苗当日に行い、消毒液は使用当日に準備したものを使用してください。

3 植付、栽培管理

生育初期の発病株は早急に抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分します。また抜き取った株跡への補植は行いません。発病株を除去したあと、周辺を中心に薬剤を散布します。

防除方法・薬剤は下記のとおりです。



知って得する!技術情報!!

<野菜編 施設野菜の次期作に向けた病害虫対策「蒸し込み」>

施設のピーマン・きゅうり等に発生するコナジラミ類やアザミウマ類は、ピーマン黄化えそ病、きゅうり黄化えそ病、きゅうり退緑黄化病などのウイルスを媒介します。これらの害虫は、施設から野外へ飛び出すと、露地作物や雑草で増殖し、次作の発生源となります。そのため、次作での害虫発生を防ぐため、野外への飛び出しを防止(出さない対策)することが極めて重要です。栽培終了後にはハウスの蒸し込みを行い、媒介虫及びウイルス罹病株を確実に死滅させます。

【蒸し込み手順】

- 1 ハウス内の雑草は除去しておく。
- 2 植物は地際部を切断するか、株を抜き取る。
- 3 暖房機・自動開閉装置等のセンサーや熱に弱い機器は遮熱材等で保護する。
- 4 ハウスを密閉し、植物が枯れてからハウス内の気温が40~45℃で10日以上続くようにする。
- 5 残渣株をハウスから持ち出す(ハウス周辺に放置しない)。

※ 夏場は概ね14日以上、冬場は20日以上を目安とします。



写真1 タバココナジラミ



写真2 ミカンキイロアザミウマ

知って得する!技術情報!!

<畜産編 畜産用ICT機器を上手に活用しましょう>

近年、スマートフォン等のICT(情報通信技術)機器の発達・普及にあわせ、畜産用の様々なICT機器が販売されています。

これらのICT機器のうち、牛群管理システムとしての機能を持つもの(Farmnote, U-motion等)は、スマートフォンを牛の管理台帳代わりとして使い、今日発情が来そうな牛や妊娠鑑定が必要な牛がメールで通知されるなどの便利な機能を搭載しています。

毎日が多忙な方や、複数人で飼養管理しているが互いの情報共有が上手くいかない経営体等は、これらICT機器を導入活用することで、繁殖成績の向上や飼養管理の効率化などが期待されます。

今回、ICT機器を導入し上手に活用している4名の方に、どのような使い方をされているか等を取材した結果、授精・妊娠鑑定・分娩などの繁殖情報を適切に入力しており、徹底した情報入力がICT機器の上手な活用に必須であると改めて確認できました。

これからICT機器の導入を検討している方などは、今回の取材結果を右上の事例集としてまとめましたので、必要な方は当課畜産普及係(TEL 0994-52-2143)にご連絡ください。

肝属畜産ICT事例集

●編集発行：令和4年3月 大隅地域振興局畜産課畜産普及係
●発行所：大隅地域振興局畜産課畜産普及係

ICT(情報通信技術)は、遠隔を使ってデジタル化された情報をやりとりする技術で、近年、畜産用の様々なICT機器が開発されており、利用することで畜産の生産性向上や労働負担軽減が期待されています。この事例集は、ICTの導入と活用を推進するため、主なICT機器と、ICTを効果的に活用している肉用牛農家の事例を紹介したものです。

<肝属畜産内で活用されている主なICT>

- 牛群管理システム
Farmnote (株式会社ファームノート)
U-motion (デジミス株式会社)
牛群毎の飼育データや発情・分娩・疾病等の情報を、スマホ・タブレット・パソコン等から入力することで一元管理でき、台帳として活用できる。繁殖履歴や妊娠判定など繁殖管理がワンタッチで表示される他、長期不発情など異常のある牛が抽出して表示され、繁殖成績向上に役立つ。
- 発情検知システム
Farmnote Color (株式会社ファームノート)
U-motion (デジミス株式会社)
牛歩Web (株式会社コムテック)
牛の歩行や定位置した位置が、繁殖時の牛の特性行動を察知し、スマホ等に発情検知を通知する。発情検知が検知することで、発情開始時期が把握できることで、発情しやすい時期に人工授精し発情率が向上する等の繁殖成績向上が期待できる。
- 牛の繁殖カメラ
畜産用カメラシステム (株式会社イノテック)
繁殖カメラ (株式会社コムテック)
U-motion (デジミス株式会社)
遠隔で操作できるカメラにより、自宅に居ながら牛の様子を映像で確認できる。分娩時に設置して分娩状況確認に使われることが多く、分娩回りの省力化、分娩事故減少が期待できる。
- 分娩検知システム
アライバ牛検察 (株式会社イノテック)
牛の乳房に挿入された温度センサーが体温変化から分娩を予測し、破水時に検出されると、破水したことをスマホにメールで通知する。分娩回りの省力化、破水メールによる農家の分娩早期対応で分娩事故減少が期待できる。